

## 中国研究会 30 年を通して見た中国の改革開放時代

國分良成 前防衛大学校長・慶應義塾大学名誉教授

1. 草創期の大蔵省中国研究会：発足の契機・目的・メンバー等
2. 社会主義市場経済の検証：鄧小平・江沢民時代(1990 年代～2002 年)
  - ・天安門事件後の中国とその余波(円借款問題など)
  - ・南巡講話の評価、社会主義と市場経済の融合と課題
  - ・成長の背景と実態、外資依存型成長
  - ・「西部大開発」「3 つの代表」(江沢民)
  - ・冷戦終焉、グローバル化、地域経済圏、「中国脅威論」
  - ・米中戦略的パートナーシップ(エンゲージメント=関与)、「Japan Passing」
  - ・WTO 加盟
3. 和諧社会建設の検証：胡錦濤・温家宝時代(2002 年～2012 年)
  - ・成長の減速傾向、政治腐敗の顕在化
  - ・「調和のとれた(和諧)社会建設」(格差是正)、三農問題、税收、保険制度
  - ・「科学的発展観」、「党内民主」、江沢民派との対立
  - ・北京オリンピック、リーマンショックと 4 兆元出動の功罪
  - ・GDP 世界第 2 位(2010 年)
  - ・外交「平和的台頭」、6 か国協議、日中関係(靖国問題、「戦略的互惠関係」)
  - ・南シナ海、尖閣諸島・・・
3. 成長の限界と政治的統制：習近平時代(2012 年～)
  - ・政治腐敗の蔓延、反腐敗闘争(江沢民派との闘争)
  - ・「依法治国」⇒「党領導」⇒言論統制
  - ・憲法改正・国家主席任期撤廃 ⇒ 共産党 100 周年 ⇒ 20 回党大会・習独裁体制
  - ・経済問題露呈：恒大破綻⇒不動産バブル崩壊連鎖、雇用問題、地方財政・・・「日本化」？
  - ・民営企業軽視 ⇒ 国有企業重視、党領導・マルクス主義重視 ⇒ 鄧小平路線軽視
  - ・外交失策：米、日・豪・印・韓関係の悪化、台湾問題、中朝露緊密化、一帯一路・・・

★成長の限界 ⇒ 社会主義市場経済の限界 ⇒ 政治体制の壁 ⇒ 外交の壁 ⇒ 体制の限界？

★今後の視点 ⇒ 政治・経済・外交のリンケージ